

令和2年5月1日

沼津市長 頼重 秀一 様

沼津市PTA連絡協議会

会長 谷口 明

オンライン学習を中心とした 新型コロナによる休校対策の推進を求める要望書

日頃より子ども達の学びに関する諸政策にご尽力頂き感謝いたします。

新型コロナの影響による長期の休校は、この先も続いてしまう恐れがあります。何とか開校できたとしても、その後の感染状況によって休校が繰り返される状況も十分に考えられます。

3月の休校以降、学校より配布して頂いたプリントを中心にした家庭学習が進んでおり、それぞれの家庭が子ども達に寄り添いながら過ごしています。先日は、先生方から子ども達への電話を頂き、子ども達は大変喜んでいました。数少ない回線による電話対応、大変だったかと思えます。感謝しています。

私達保護者や子どもは、この先も学校に通っての学びが受けられない状況が続くのではないかと、とても不安に思っています。現在行われている家庭学習の形では、この緊急事態に対応しきれないのでは、とも考えています。

夏休み期間中での授業が行われる可能性もあると考えています。中学校において、夏休み前の完了を目指したエアコン整備が進んでいることは伺っていますが、換気の関係からどこまで暑さ対策として機能できるか、不安は拭えません。狭い教室内で、子ども達が十分な距離を保って授業を受ける難しさもあります。

新型コロナの影響が長引いた場合、教室に集まったの学びの再開は大変難しい状況にあると考えます。また、仮に再開できたとしても、感染または濃厚接触者となってしまった児童生徒が出れば、再度の休校措置が取られることも考えられます。その子どもだけ、学校に通えなくなるかもしれません。その児童生徒と仲良くしている子ども達にも、そうした影響が及ぶ恐れもあるでしょう。オンライン学習の環境を整えておけば、通学できている子ども達と同等とまではいかないまでも、自宅に居ながらの学びを継続することもできます。

「学校が再開できないことへの備え」として、また再開できた後の「再度の休校への備え」として、さらには再度の休校はしないまでも、新型コロナ感染の影響により「全体の学びの場に参加できない子ども達への備え」として、早急にオンライン学習の準備を進めて頂きたいと切に願っています。

オンライン学習の形は「授業動画や、理解を深める動画の配信」「授業のライブ配信」「先生や生徒同士のコミュニケーション」「課題提出とチェック」など様々です。何を、いつやるか？「短期的な取り組み」と共に、「中・長期的な取り組み」を検討していく必要があると考えます。

市P連で実施した「ご家庭における インターネット環境に関するアンケート」と「アンケート結果を踏まえた オンライン学習の推進に向けた考え方」を、要望書に併せてお渡しします。沼津市が、子ども達の学びを守るべく「新型コロナとの長期戦にどう備え、対応するのか」、時をおかずに検討を進める材料として活用して頂きたいと思います。

オンライン学習の準備を進める際には、厳しい環境にある家庭への支援も必要です。家庭の事情、格差を埋める手立てを併せて講じる必要があると考えます。お渡ししたアンケートの結果により、家庭における端末やインターネット環境の状況がわかるようになっています。ぜひご活用ください。

新型コロナの影響を踏まえた「中・長期的な取り組み」を考える際には、学校に通えない状況における、新たな学びの形を模索していく必要があります。担当部門だけでそれに当たるのではなく、知見ある現場の先生方や民間の知恵を活用した体制を構築して頂きたいと思います。その際、私達市P連も、子ども達の学びの確保のための協力を惜しみません。

全ては子ども達のために。新型コロナの影響を踏まえた、沼津市立小中学校に通う児童生徒の学びを守る対策として、以下5点を要望します。

記

5月20日（水）までの休校期間における『短期的な取り組み』

1. 学校が実施する取り組みへの予算措置

短期的には、プリントによる学びを中心に電話やメール、ホームページを活用した対応がなされるものと推察するが、学校に整備された電話回線の数はわずかに2～3回線で、各家庭に資料を郵送しようにも予算がなく、PTA会費で賄っている学校もあるのが実状。各校が5月20日（水）までの休校期間中に実施する対策が滞りなく行われるよう、予算措置を含めて対応すること。

再度の休校等を見据えた『中・長期的な取り組み』

2. オンライン学習の準備

市P連による「ご家庭におけるインターネット環境に関するアンケート」と「アンケート結果を踏まえたオンライン学習の推進に向けた考え方」を活用しつつ、早急にオンライン学習の準備に取り組むこと。また、今年度中の整備が予定されている各校の校内LANの増強について、可能な限り早い段階で実現すること。

3. 公平な学びの確保

オンライン学習の実施により学びを得る機会が奪われてしまう児童生徒が出ないように、家庭の事情や環境格差を埋める手立てを併せて講じること。

4. オンライン学習を「ワン沼津」で形にする体制の構築

オンライン学習への知見豊かな教員や、教職員研修センター、市の取り組みをICT技術の側面からサポートする市P連有志、必要であれば民間事業者も入れたプロジェクトチーム、「(仮称)「新型コロナに負けない、沼津の子ども学びプロジェクトチーム」を発足させるなど、早期に効果的な学びの形を生み出す体制を構築すること。

5. 積極的な予算措置

沼津の子ども達の未来・学びの確保のために必要となる予算措置を惜しまないこと。

以上